

生活衛生関係営業の景気動向等調査結果

－2014年1～3月期－

I 景気の動向

持ち直しの動きが続いている生活衛生関係営業の景況

今期（2014年1～3月期）の売上、採算、業況判断の各D Iは、▲24.0（前期比1.4ポイント上昇）、▲12.5（同3.2ポイント低下）、▲29.1（同9.3ポイント低下）となりました。前年同期に対しては、売上D Iは16.4ポイント、採算D Iは19.3ポイント、業況判断D Iは19.8ポイント上昇しました。いずれも4期連続で前年同期を上回りました。

生活衛生関係営業の景況は、持ち直しの動きが続いています。

さらに、来期の業況判断D I見通しは▲20.9と、8.2ポイントの上昇を見込んでいます。

（注）D I＝良い（増加・黒字・好転）企業割合－悪い（減少・赤字・悪化）企業割合

調査時点	2014年3月上旬			
調査方法	郵送調査			
調査対象	生活衛生関係営業3,220企業			
有効回答企業数	2,977企業（回答率92.5%）			
（業種内訳）	飲食業	1,425企業	映画館	51企業
	食肉・食鳥肉販売業	143企業	ホテル・旅館業	161企業
	氷雪販売業	61企業	公衆浴場業	106企業
	理容業	363企業	クリーニング業	248企業
	美容業	419企業		

この調査は、全国的生活衛生関係営業の主な業種について、その景気や設備投資の動向などを把握するため、定期的に（年4回）実施しているものです。

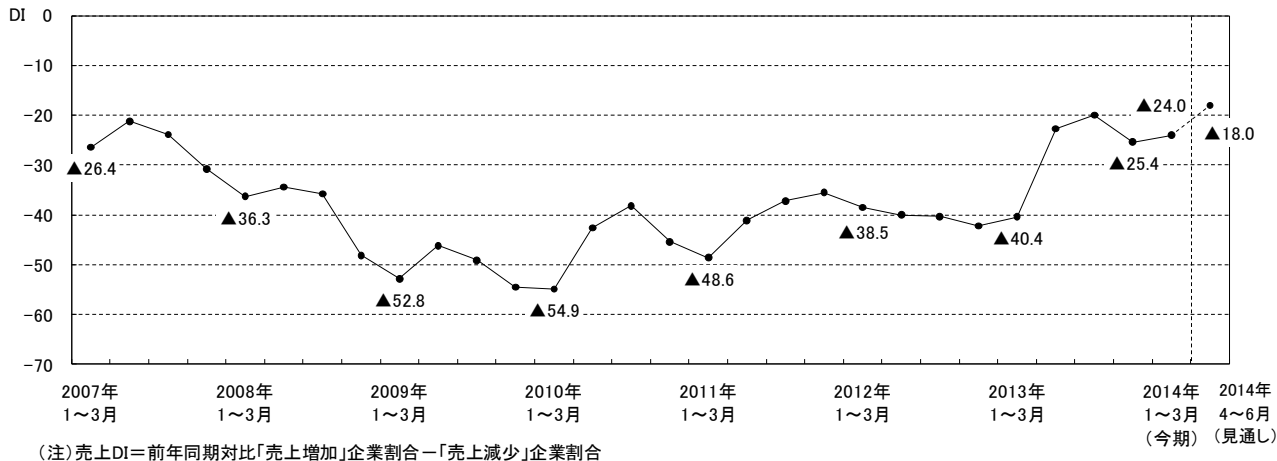
【本調査における留意事項】

- ・2012年4～6月期調査時点で調査対象企業の見直しが行われている。
- ・比率の算出にあたっては、無回答を除いたものを母数としている。

1. 売上

- 売上DIは、前期から1.4ポイント上昇して▲24.0となり、前年同期に対しては16.4ポイント上回りました。4期連続で前年同期の水準を上回りました。
来期の見通しは、▲18.0となり、6.0ポイントの上昇を見込んでいます。

図 I - 1 - ① 売上DIの推移（全業種計）



- 業種別にみると、前期に比べ、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「映画館」「公衆浴場業」の7業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上回りました。来期の見通しは、「飲食業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「ホテル・旅館業」「クリーニング業」の6業種で上昇を見込んでいます。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「社交業」「その他飲食店」の6業種で上昇しました。前年同期に対しては、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「社交業」「その他飲食店」の6業種で前年同期の水準を上回りました。来期の見通しは、全業種で上昇を見込んでいます。

図 I - 1 - ② 業種別売上DIの推移（飲食業を除く）

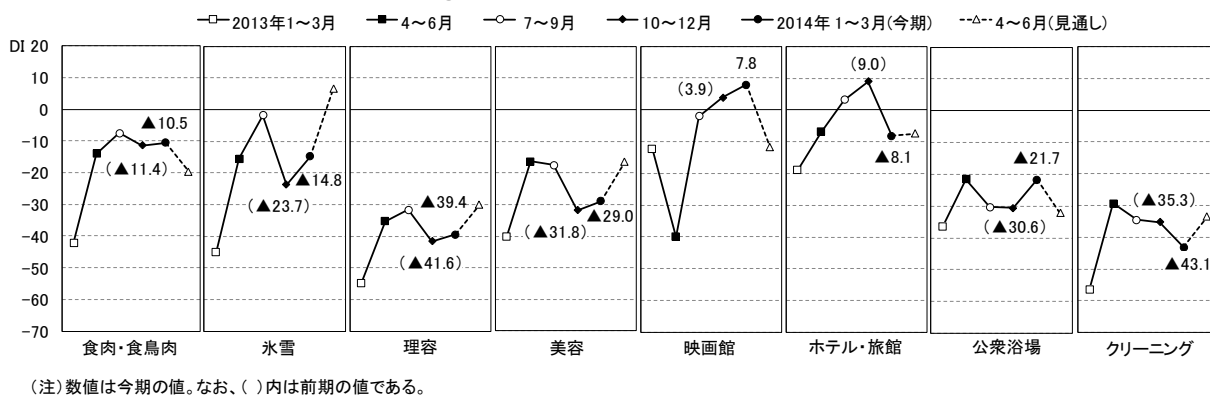
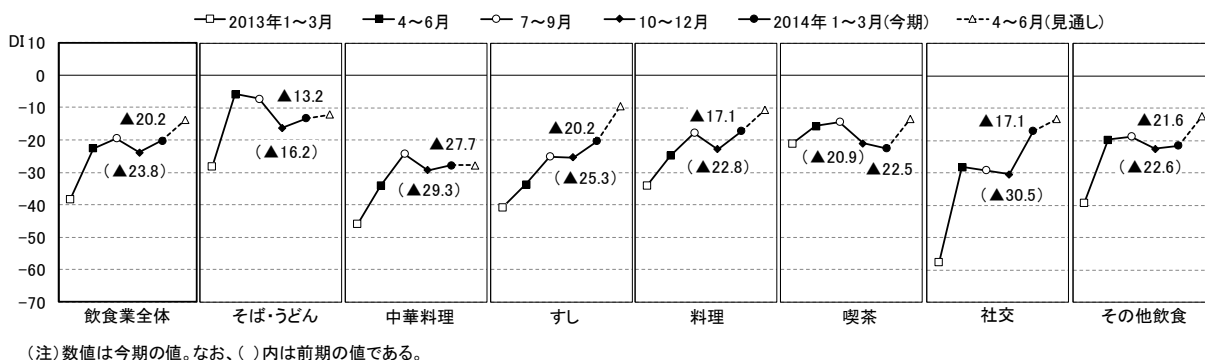


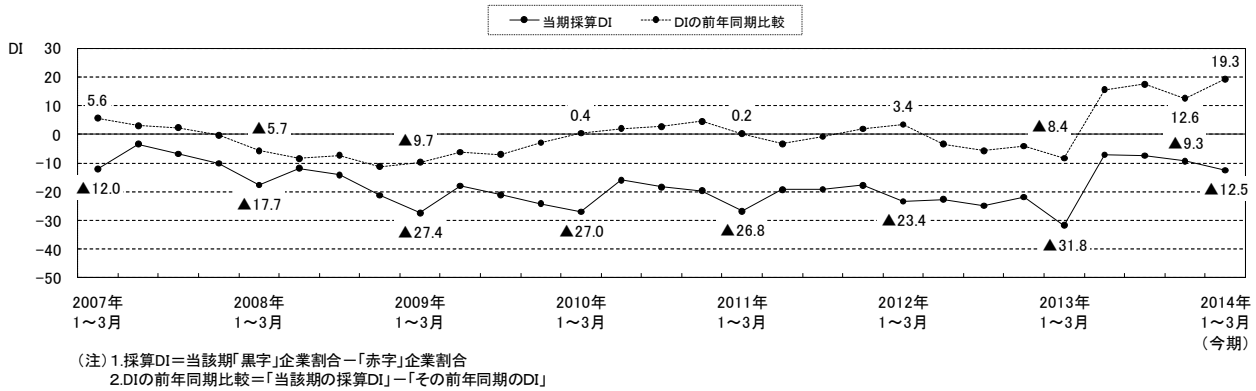
図 I - 1 - ③ 飲食業売上DIの推移



2. 採算

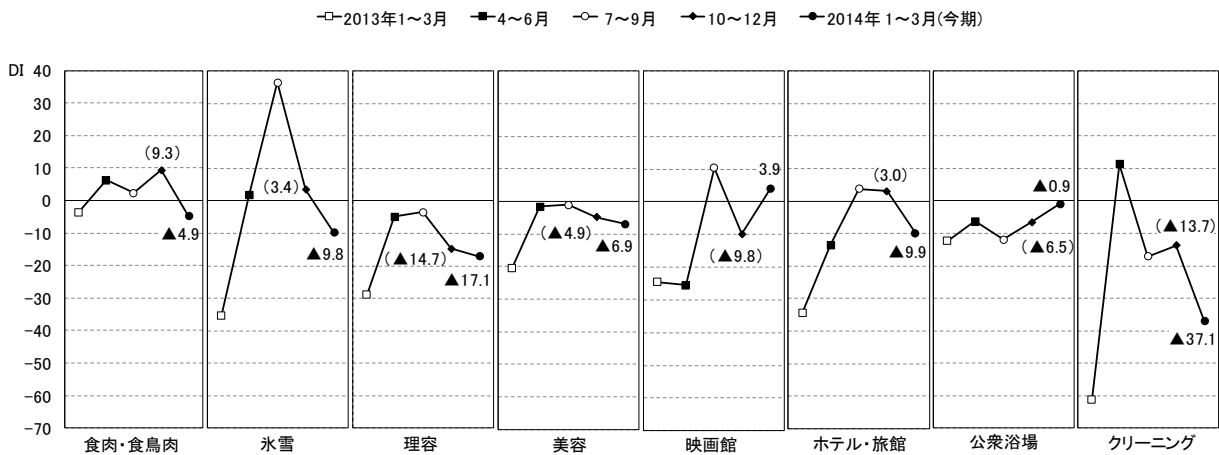
- 採算DIは、前期から3.2ポイント低下して▲12.5となり、前年同期に対しては19.3ポイント上回りました。4期連続で前年同期の水準を上回りました。

図 I - 2 - ① 採算DIの推移（全業種計）



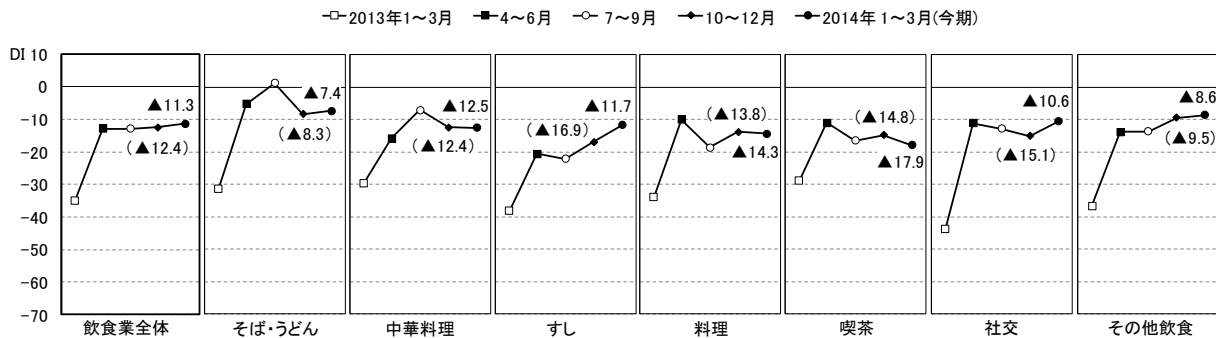
- 業種別にみると、前期に比べ「飲食業」「映画館」「公衆浴場業」の3業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「映画館」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」「クリーニング業」の8業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「すし店」「社交業」「その他飲食店」の4業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上回りました。

図 I - 2 - ② 業種別採算DIの推移（飲食業を除く）



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

図 I - 2 - ③ 飲食業採算DIの推移

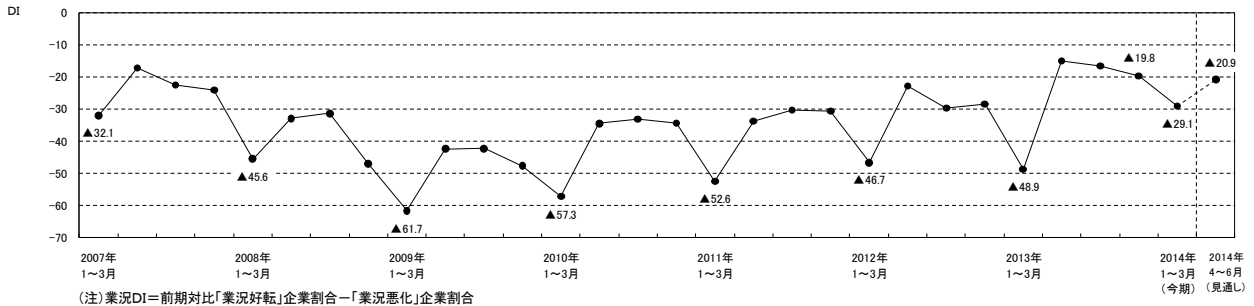


(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

3. 業況判断

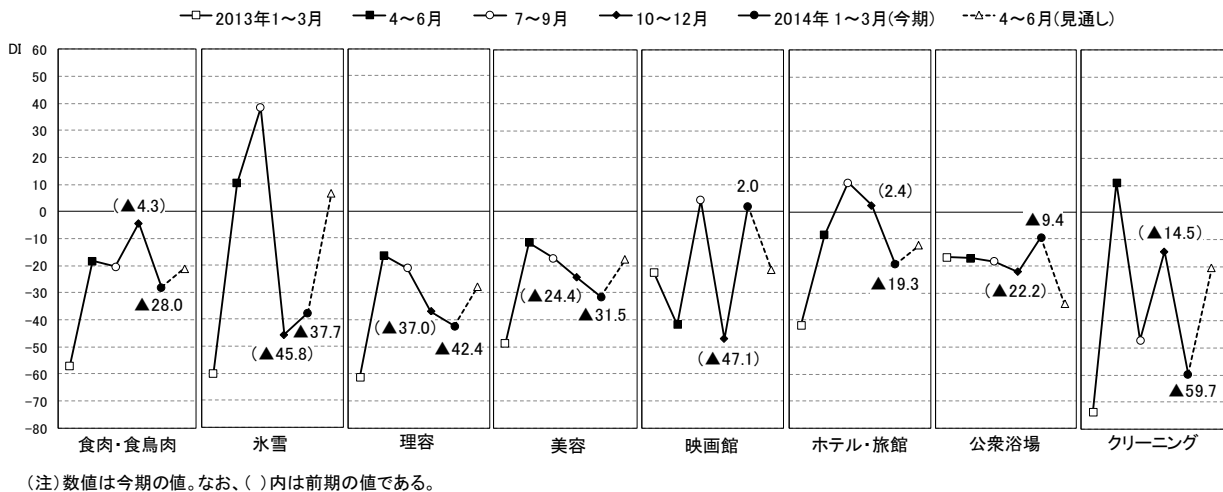
- 業況判断DIは、前期から9.3ポイント低下して▲29.1となり、前年同期に対しては19.8ポイント上回りました。4期連続で前年同期の水準を上回りました。
来期の見通しは、▲20.9となり、8.2ポイントの上昇を見込んでいます。

図I-3-① 業況判断DIの推移（全業種計）

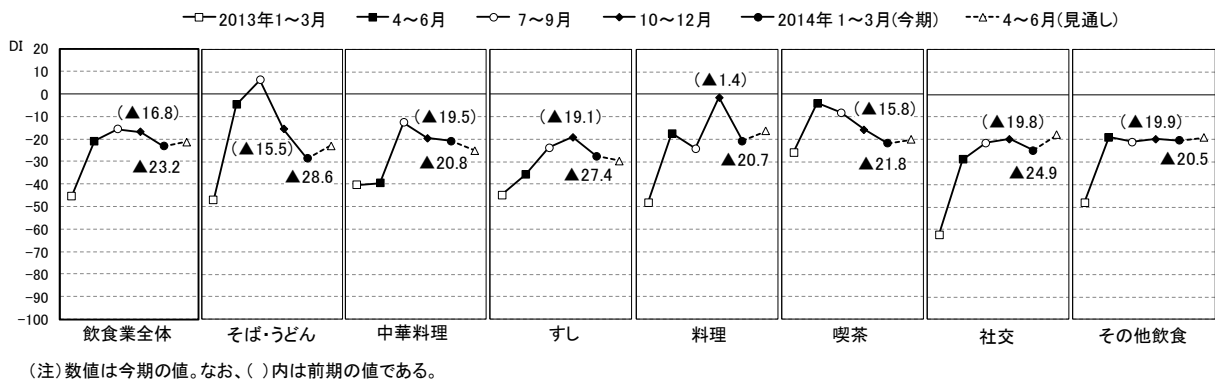


- 業種別にみると、前期に比べ、「冰雪販売業」「映画館」「公衆浴場業」の3業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上回りました。
来期の見通しは、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「ホテル・旅館業」「クリーニング業」の7業種で上昇を見込んでいます。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、上昇した業種はありませんでした。前年同期に対しては、全業種で上回りました。
来期の見通しは、「そば・うどん店」「料理店」「喫茶店」「社交業」「その他飲食店」の5業種で上昇を見込んでいます。

図I-3-② 業種別業況判断DIの推移（飲食業を除く）



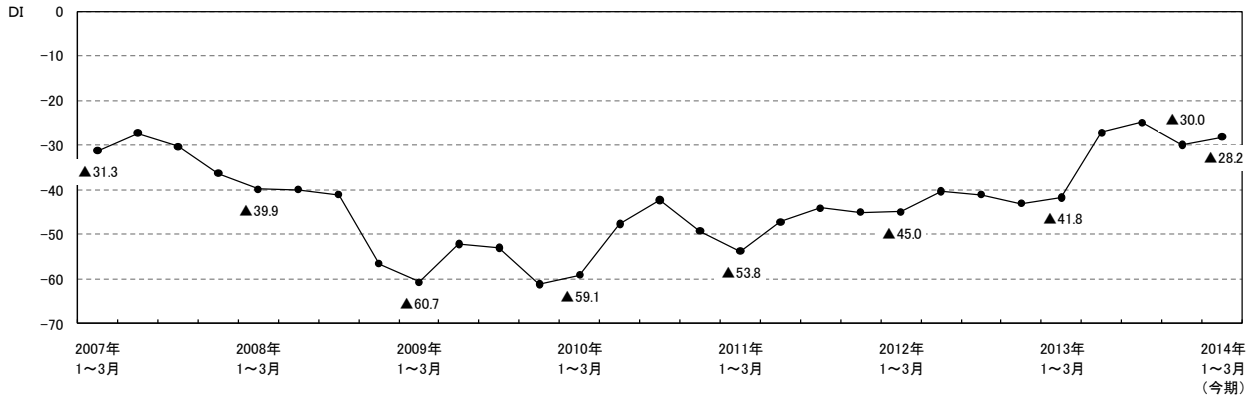
図I-3-③ 飲食業業況判断DIの推移



4. 利用客数

- 利用客数D Iは、前期から1.8ポイント上昇して▲28.2となり、前年同期に対しては13.6ポイント上回りました。10期連続で前年同期の水準を上回りました。

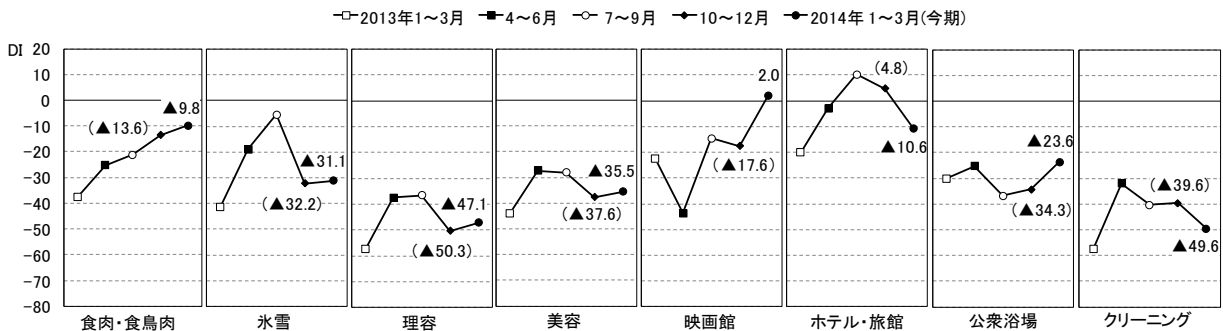
図 I - 4 - ① 利用客数D Iの推移（全業種計）



(注) 利用客数DI=前年同期対比「利用客数増加」企業割合-「利用客数減少」企業割合

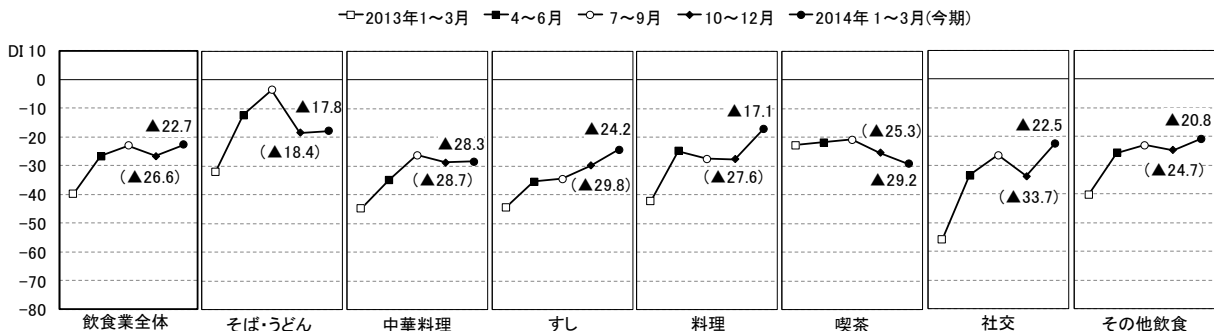
- 業種別にみると、前期に比べ、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「映画館」「公衆浴場業」の7業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「社交業」「その他飲食店」の6業種で上昇しました。前年同期に対しては、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「社交業」「その他飲食店」の6業種で前年同期の水準を上回りました。

図 I - 4 - ② 業種別利用客数D Iの推移（飲食業を除く）



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

図 I - 4 - ③ 飲食業利用客数D Iの推移

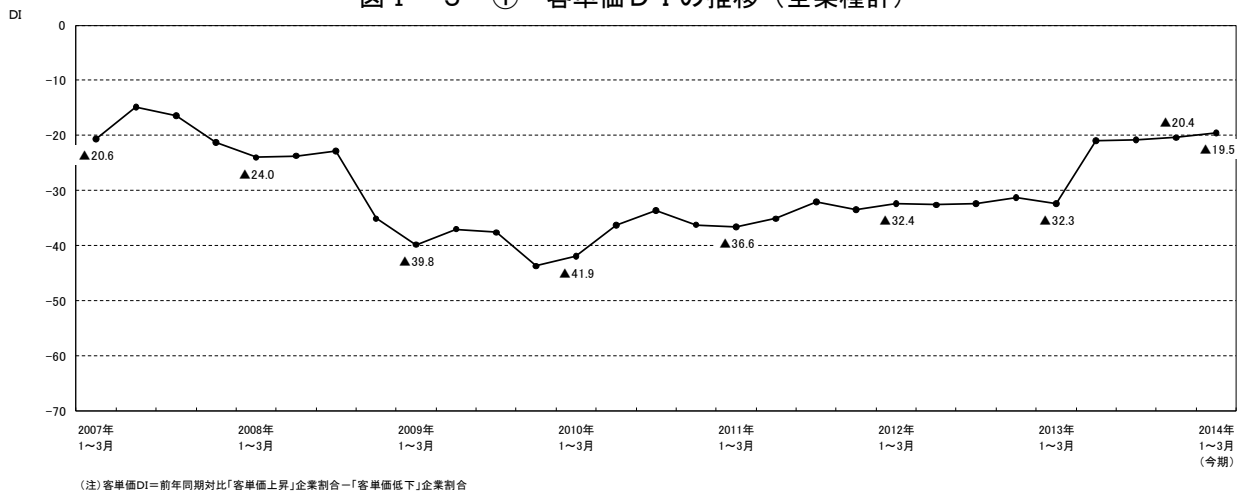


(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

5. 客単価

- 客単価DIは、前期から0.9ポイント上昇して▲19.5となり、前年同期に対しては12.8ポイント上回りました。4期連続で前年同期の水準を上回りました。

図 I - 5 - ① 客単価DIの推移（全業種計）



- 業種別では、前期に比べ、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「氷雪販売業」「美容業」「映画館」「公衆浴場業」の6業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「氷雪販売業」「理容業」「美容業」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」「クリーニング業」の8業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「社交業」のみ上昇しました。前年同期に対しては、「中華料理店」「すし店」「料理店」「社交業」「その他飲食店」の5業種で上回りました。

図 I - 5 - ② 業種別客単価DIの推移（飲食業を除く）

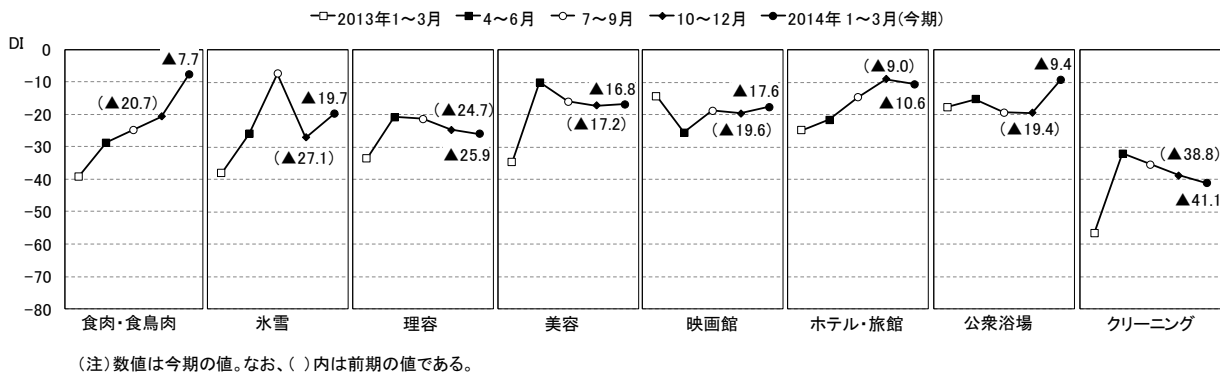
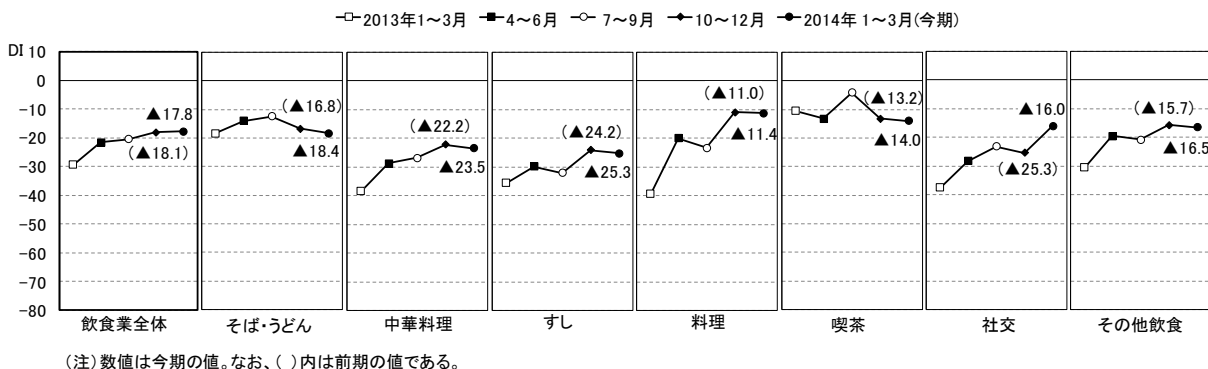


図 I - 5 - ③ 飲食業客単価DIの推移



Ⅱ 設備投資の動向

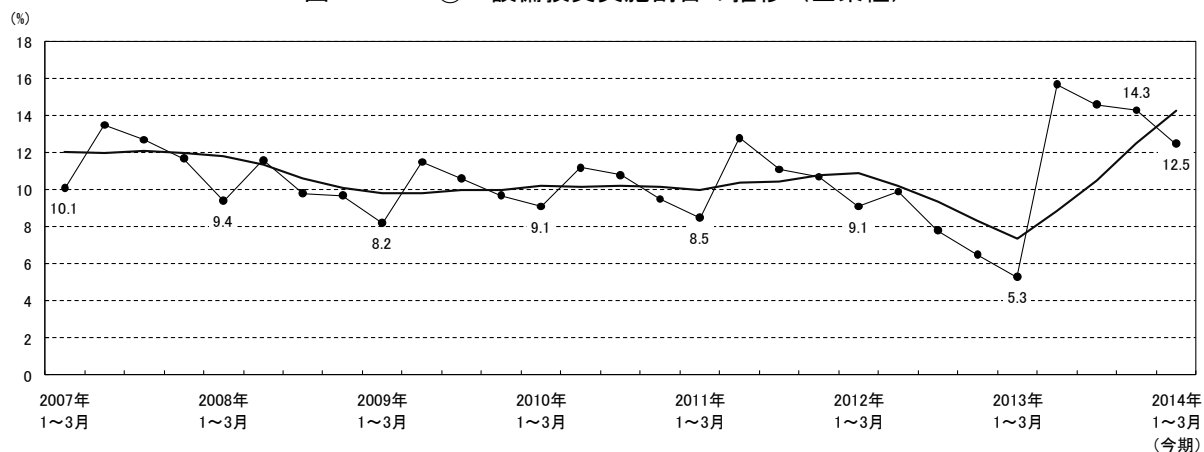
1. 設備投資の実施状況

(1) 設備投資の状況

今期（2014年1～3月期）に設備投資を行った企業の割合は12.5%と前期（14.3%）に比べ1.8ポイント低下しました。前年同期（5.3%）に対しては7.2ポイント上昇しました。

生活衛生関係営業の設備投資は、持ち直しの動きが続いています。

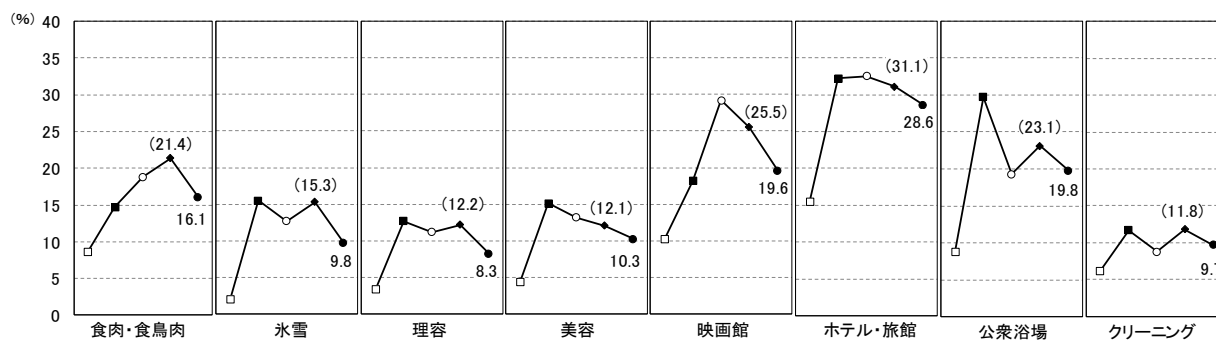
図Ⅱ-1-① 設備投資実施割合の推移（全業種）



- 設備投資を実施した割合を業種別に高い順にみると、「ホテル・旅館業」28.6%、「公衆浴場業」19.8%、「映画館」19.6%となっています。全業種で前年同期の水準を上回りました。
- 飲食業の業種別に設備投資を実施した割合を高い順にみると、「そば・うどん店」14.9%、「料理店」13.6%、「中華料理店」12.5%となっています。全業種で前年同期の水準を上回りました。

図Ⅱ-1-② 業種別設備投資実施割合の推移（飲食業を除く）

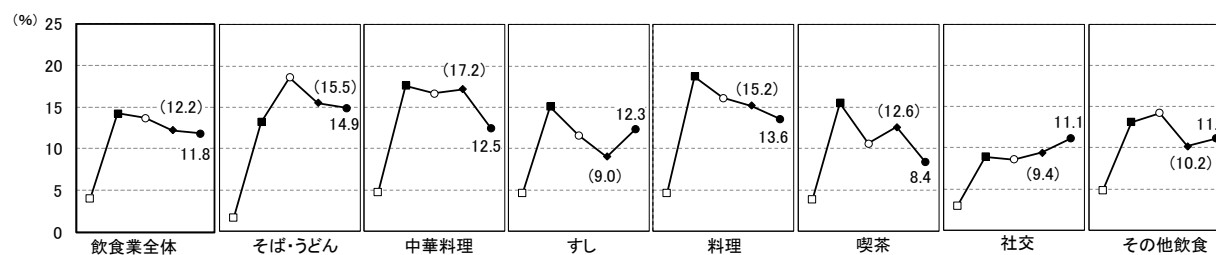
□ 2013年1～3月 ■ 4～6月 ○ 7～9月 ◆ 10～12月 ● 2014年1～3月(今期)



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

図Ⅱ-1-③ 飲食業設備投資実施割合の推移

□ 2013年1～3月 ■ 4～6月 ○ 7～9月 ◆ 10～12月 ● 2014年1～3月(今期)

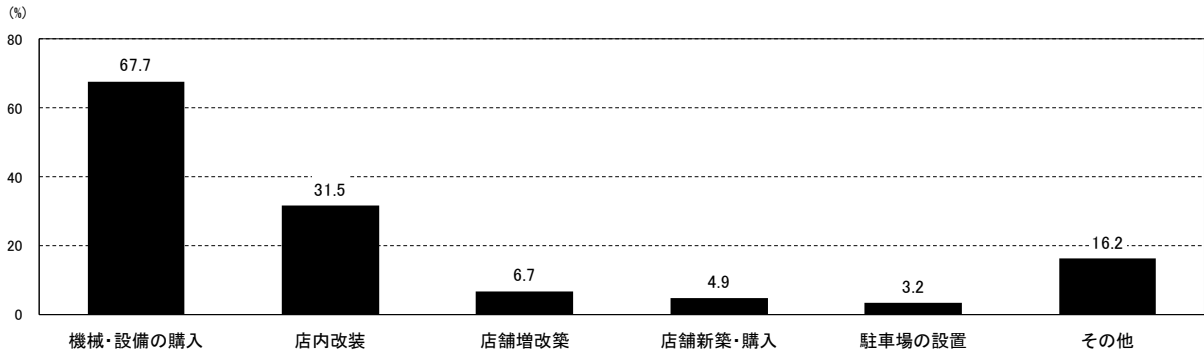


(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

(2) 設備投資の内容

- 設備投資の内容は、「機械・設備の購入」67.7%、「店内改装」31.5%、「店舗増改築」6.7%の順となっています。

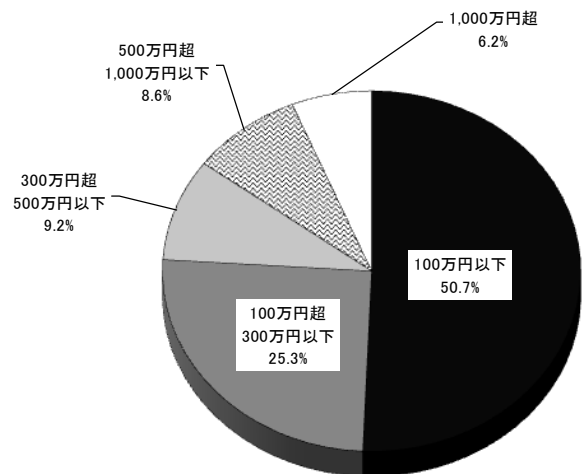
図Ⅱ-1-④ 設備投資の内容（全業種、複数回答）



(3) 設備投資金額

- 設備投資を行った企業の投資金額をみると、「100万円以下」50.7%、「100万円超300万円以下」25.3%、「300万円超500万円以下」9.2%となっており、500万円以下の小口投資が85.2%を占めました。
一方、「500万円超1,000万円以下」8.6%、「1,000万円超」6.2%となっています。

図Ⅱ-1-⑤ 設備投資金額（全業種）

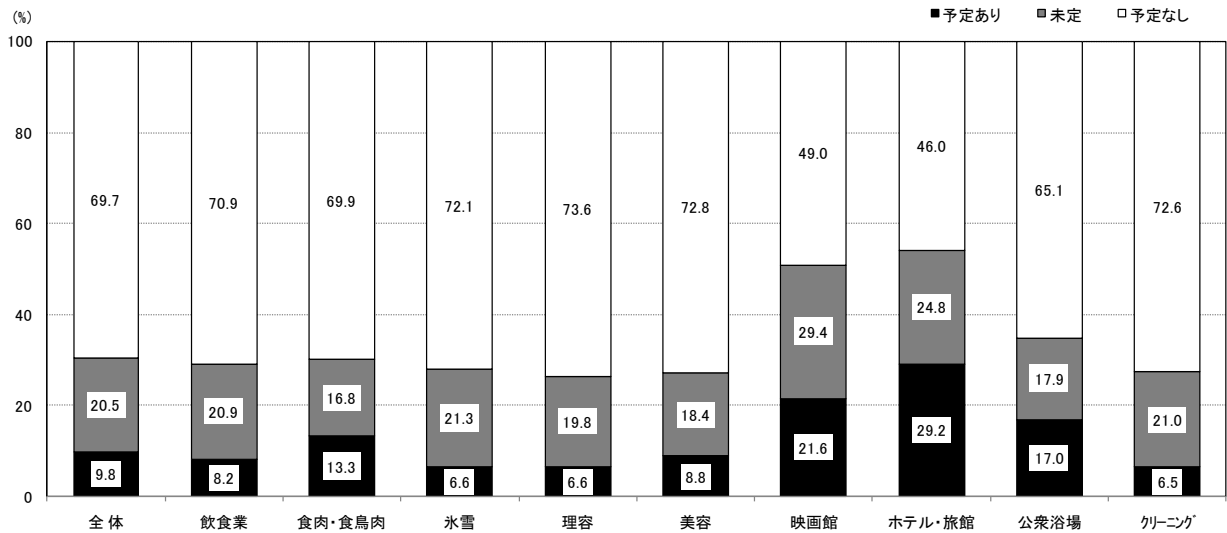


2. 来期以降1年間の設備投資計画

(1) 計画の有無

- 来期以降1年間の設備投資計画については、「予定あり」9.8%、「未定」20.5%、「予定なし」69.7%となっています。「予定あり」の企業割合は前期（10.2%）から0.4ポイント低下、前年同期（6.8%）に対しては3.0ポイント上昇しました。
- 設備投資を「予定あり」とする企業を業種別に高い順にみると、「ホテル・旅館業」29.2%、「映画館」21.6%、「公衆浴場業」17.0%となっています。

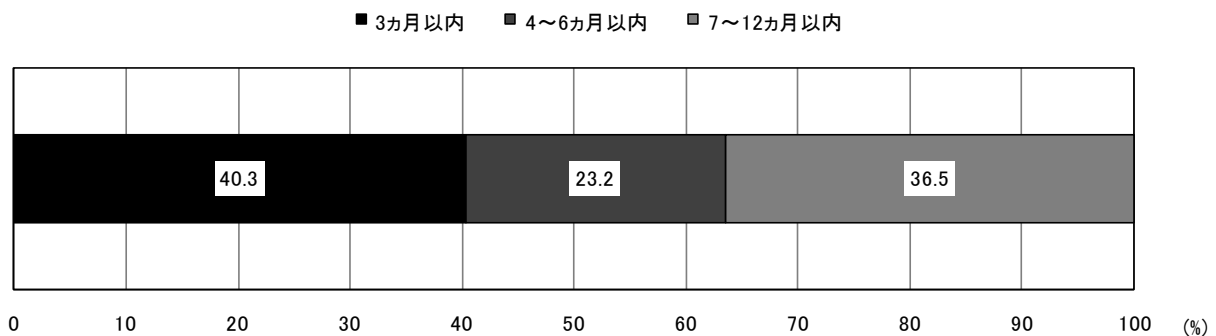
図Ⅱ-2-① 来期以降1年間の設備投資計画の実施予定割合（業種別）



(2) 設備投資の実施予定時期

- 設備投資計画で「予定あり」と回答した企業について、実施予定時期をみると、「3ヵ月以内」40.3%、「4～6ヵ月以内」23.2%、「7～12ヵ月以内」36.5%となっています。

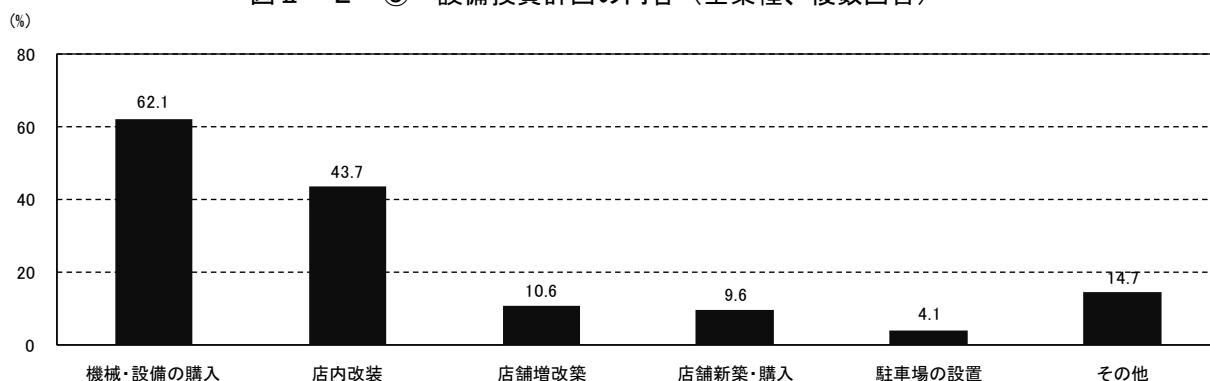
図Ⅱ-2-② 設備投資計画の実施予定時期（全業種）



(3) 設備投資計画の内容

- 設備投資計画の内容は、「機械・設備の導入」62.1%、「店内改装」43.7%、「店舗増改築」10.6%の順となっています。

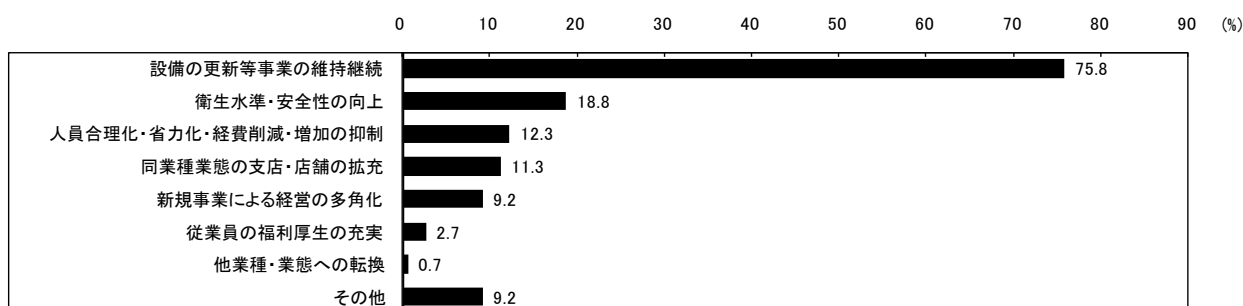
図Ⅱ－２－③ 設備投資計画の内容（全業種、複数回答）



(4) 設備投資計画の動機

- 設備投資計画の動機は、「設備の更新等事業の維持継続」75.8%、「衛生水準・安全性の向上」18.8%、「人員合理化・省力化・経費削減・増加の抑制」12.3%の順となっています。

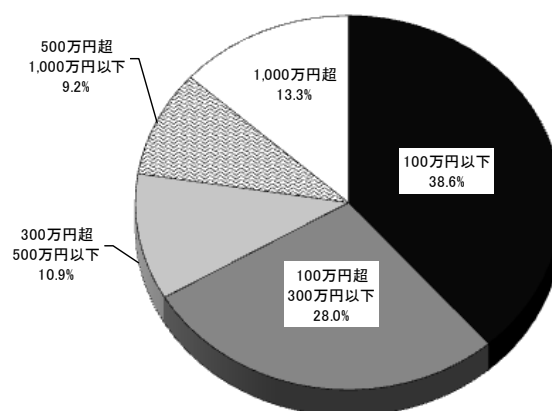
図Ⅱ－２－④ 設備投資計画の動機（全業種、複数回答）



(5) 設備投資予定金額

- 設備投資予定額は、「100万円以下」38.6%、「100万円超 300万円以下」28.0%、「300万円超 500万円以下」10.9%となっています。500万円以下の小口投資は、全体の77.5%を占めています。

図Ⅱ－２－⑤ 設備投資予定金額（全業種）



Ⅲ 経営上の問題点

- 経営上の問題点で多いものを順にみると、「顧客数の減少」58.5%、「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」39.0%、「客単価の低下」25.4%、「店舗施設の狭隘・老朽化」20.8%、「従業員の確保難」13.7%となっています。
- 「そば・うどん店」「その他飲食店」「食肉・食鳥肉販売業」は「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」、その他の業種では「顧客数の減少」を第1位としてあげています。

表 経営上の問題点（業種別、2014年1～3月）

(%)

項目	顧客数の減少	転嫁の困難 等仕入価格を ・人件費に 格を・格に費	客単価の低下	老舗施設の狭隘・老朽化	従業員の確保難	後継者難	事業資金借入難	その他	特に問題なし
業種合計	58.5	39.0	25.4	20.8	13.7	9.8	3.7	4.0	6.2
飲食業合計	52.1	47.1	23.6	19.8	15.4	8.8	4.8	2.6	6.4
そば・うどん店	51.4	64.0	13.1	21.7	17.1	6.3	3.4	1.7	2.9
中華料理店	53.6	47.6	22.6	22.0	14.9	10.7	4.2	0.6	8.9
すし店	53.6	36.9	25.1	21.8	12.8	12.3	4.5	5.0	8.9
料理店	47.9	46.4	27.9	20.7	15.0	7.9	7.9	1.4	5.7
喫茶店	56.4	47.5	16.8	25.7	10.6	11.2	3.9	3.9	3.9
社交業	56.6	24.9	34.4	12.2	23.8	4.2	4.2	2.6	12.7
その他飲食店	48.4	54.7	24.3	17.7	14.2	9.1	5.3	2.5	4.1
食肉・食鳥肉販売業	34.3	57.3	24.5	28.0	9.8	9.8	3.5	1.4	7.0
氷雪販売業	67.2	27.9	27.9	18.0	6.6	18.0	4.9	6.6	4.9
理容業	79.6	18.7	28.1	18.2	9.4	12.1	1.9	7.4	6.3
美容業	61.6	21.7	27.2	17.2	19.3	11.9	3.3	5.7	8.8
映画館	60.8	35.3	21.6	33.3	17.6	3.9	3.9	11.8	2.0
ホテル・旅館業	53.4	36.6	20.5	38.5	20.5	8.7	5.0	3.7	2.5
公衆浴場業	66.0	37.7	10.4	38.7	0.9	12.3	0.9	6.6	6.6
クリーニング業	71.0	46.4	38.7	11.7	4.8	7.3	1.2	2.4	3.6

(注)複数回答のため合計は100を超える。

IV 特徴的な業況判断理由（業種・地域別）

今期および来期見通しの業況に対する判断理由（地域経済、業界の特徴および経営面での取り組みを含みます。）について、特徴的なものを取りまとめると次のとおりです。

今期：2014年1～3月期 来期：2014年4～6月期

◆飲食業

業種	業況	地域	判断理由
そば・うどん店	今期	好転	長崎県 新メニューの導入で売上高が増え、当店の味が理解されていると感じる。トッピングの無料サービスで固定客が増えた。
		不変	神奈川県 旬の食材を使用し季節感を出し、併せて期間限定のメニューをアピールしたことが悪化の歯止めにつながった。
		悪化	山形県 天候不順から客数が減少。燃料費や原材料などの仕入価格が上昇しており経営を圧迫している。
	来期見通し	好転	香川県 今年は弘法大師「四国八十八ヶ所霊場開創 1200 年祭」により四国に来られる方が増える良い年になると思う。
		不変	滋賀県 3月からインターネットの検索サイトに掲載し、地元の人や観光客にPRする。現状維持を図りたい。
		悪化	宮城県 原材料の値上げに続き、消費税が上がるが、価格転嫁が難しく悪化を見込んでいる。
中華料理店	今期	好転	宮城県 定休日を月4回から2回に変更し、ランチメニューを強化したところ、昼間のお客が増えた。新規の宴会客の取り込みにも力を入れており、少しずつ効果が出ている。
		不変	東京都 料理の単価を下げ、セットメニューを増やした。インターネットによる予約客の取り込みを行った。
		悪化	島根県 消費増税前の高額商品の駆け込み需要の影響からか、消費者は外食費は抑えているように感じる。
	来期見通し	好転	和歌山県 公共工事が増え、現場の労働者の方が来てくれるようになっており、今後も少し良くなっていくと期待している。
		不変	福岡県 以前は夜の出前の注文が多かったが、最近は店舗周辺の会社が不景気で残業が減少しているため注文が減少した。今後もこの状況は続くと思われる。
		悪化	愛媛県 「消費税はいただきません」を売りに、たっぷりの量の料理を安く提供してきた。これまでは薄利ながら何とかやってきたが、今回の消費税アップでは同様の対応ができないので、消費税分をいただく。値上げになるため、お客様の反応が怖い。
すし店	今期	好転	愛媛県 松山市で開催予定（平成 29 年）の国体の工事関係者やマンション建設の工事関係者の宿泊や食事の機会が増えており、売上は回復基調。また、中小企業に対する交際費の非課税枠が拡大された影響もあった。
		不変	山梨県 徐々に売上が減少していたため、日本間にテーブルを設置して椅子に座る形式にしたところ、お客様に好評で売上も少しずつ増えている。
		悪化	栃木県 魚の仕入価格や燃料費が 20%も上昇しており、経営を圧迫している。
	来期見通し	好転	長野県 アベノミクスの効果に期待し好転を見込むが、消費税増税もあるため予想はしにくい。
		不変	奈良県 見通しは大変厳しい。高価なネタまたは季節の一品を安くし、それを目玉商品としてお客様を呼び込みたい。
		悪化	岩手県 消費増税が飲食業界には厳しく感じられる。3～6ヶ月は収支がマ

				イナスになることを覚悟しなければならないと思う。
料理店	今期	好転	徳島県	コースメニューを改良しお客様の満足度を高めた。地産地消を徹底し、安心してもらえる料理を提供すればお客様の囲い込みにつながる実証された。このような姿勢が口コミで広がり、リピーターの確保に結びついている。
		不変	長野県	大きな変動は見られない。インターネット等の広告宣伝の見直しや料理の内容の充実を図っている。
		悪化	愛知県	地域経済の低迷が顕著である。
	来期見通し	好転	栃木県	価格の手頃な料理をメニューに加えたほか、例えば、工場に来訪した外国人向けの日本料理(昼食)の提供を行うなど、企業等への対応を充実させており、その効果があらわれている。
		不変	宮城県	アベノミクスや楽天・田中投手に関連した効果に期待したが思うほどではなかった。会社の接待費が緩和させることに期待したい。
		悪化	埼玉県	毎年、一人当たりの利用金額が減少しており、伸び悩んでいる。消費税増税、光熱費等諸経費の上昇が予想され、来期の見通しも暗い。
喫茶店	今期	好転	滋賀県	フェイスブックでパーティーやセミナー等を企画したことにより、予約が入るようになった。今後も活用していこうと思う。
		不変	北海道	札幌近代美術館の近くにあり競合店が多いが、昨年、ローカルテレビで紹介されるなど知名度はある。冬季であり厳しいが、現状維持は確保している。
		悪化	三重県	コンビニの出店等により悪化している。
	来期見通し	好転	奈良県	新たな生活が始まる春は一新しやすい。スタッフで案を出し合った新メニューをお披露目するのを楽しみにしている。
		不変	山口県	消費はいまだに貯蓄傾向にあると感じる。特に年金受給者は収入の減少と物価上昇の影響を受けている。厳しい状況が続くそうである。
		悪化	兵庫県	地域の産業(ケミカルシューズ製造、中小の鉄工所等)の景気が悪く期待が持てない。
社交業	今期	好転	愛媛県	ビールメーカーの提案もあり、氷点下のビールを取り扱ったところ立地条件が良かったためか、話題を呼び、新規顧客の獲得に結びついた。売上が1割程度増加した。
		不変	福岡県	アベノミクスやNHKテレビドラマ「軍師官兵衛」の影響で旅行者が増え人通りは多くなっているが、店舗のあるビル内は閑散としており、業況は変わらない。
		悪化	群馬県	今期は降雪等の影響により客足が鈍くなっている。
	来期見通し	好転	宮崎県	所属しているバーテンダー協会を通して、県や市の観光業者や農商工の協議会と連携を図り、マップの作成や宮崎オリジナル商品の開発に取り組んでいる。すぐに大きな反響はないと思うが、一定の評価はいただいている。
		不変	岐阜府	サービス精神をモットーにしている。煮物、サラダ、スープ等10種類程度をご用意し、無料でお客様に提供している。自家製ハンバーグが好評で、楽しみに来店してくれるお客様もいらっしゃる。現状維持は見込めると考える。
		悪化	鳥取県	お客様が減少している中、消費税が8%になればもっと減ってしまうのではないかと懸念している。
その他飲食店	今期	好転	東京都	アベノミクス効果が徐々に浸透してきた。オリンピックの東京開催決定もあり、宴会が増えた。
		不変	奈良県	インドネシア、フィリピン、マレーシアなど、東アジアからのお客様が増えている。
		悪化	岡山県	地方では景気回復の影響は見受けられず、お客様から給料が増えたという声はほとんど聞かれない。ただし、土木関係のお客様は東北等での仕事が増え、一部潤っているとの声も聞かれる。

	来期見通し	好転	福岡県	釜飯を主力商品に店売り中心に営業していたが、競合が激しいため、宅配弁当に参画した。原価率は上昇したが売上も増えている。今後もメニューの開発等に力を入れていきたい。
		不変	埼玉県	利用客数の減少をカバーするため、原材料を減らし売価を下げ、インターネットでおすすめメニューをPRしている。消費増税による不安を払拭するため、まずは歓送迎会等のイベントに注力したい。
		悪化	奈良県	消費増税による仕入商品の値上げがあるため、値段の据え置きは難しい状況である。顧客離れは必然ではないか。

◆食肉・食鳥肉販売業

業種	業況	地域	判断理由	
食肉販売業	今期	好転	京都府	販売価格がアップし好転の兆しがみられる。消費者の購買傾向が安価なものから美味しいものに移行している。
		不変	群馬県	新商品の開発や新規得意先の開拓等もあったが、店舗前の道路工事の影響から、ここ3ヶ月間の顧客離れが著しい。
		悪化	岐阜県	当業界は季節需要に左右されやすい。年末の需要期が終わり売上は低迷した。景気回復は大企業のみが恩恵を受けている状況。物価上昇等の影響から一般消費者の財布のひもは固い。
	来期見通し	好転	香川県	讃岐牛、オリーブ牛（ブランド牛）の効果により、新たな客層が増えた。来期は明るい。
		不変	千葉県	仕入価格が上昇して経営を圧迫しているが、取引先数は変わりない。大きな変化はないとみている。
		悪化	新潟県	消費税増税の影響は免れないと思うが、時間とともに慣れてきて元に戻ると思う。
食鳥肉販売業	今期	好転	大阪府	百貨店の来店客数が伸びていることから、好転した。
		不変	福岡県	新規客の開拓、とりわけ若者を呼ぶためにサービス品を作った。その結果、客数は増加したが、客単価が低下し収支は好転しなかった。
		悪化	愛知県	仕入価格が高値で推移する一方で、売上は減少している。
	来期見通し	好転	和歌山県	今期は売上高が最も減少する時期である。来期は少し持ち直すことを期待している。
		不変	京都府	設備の老朽化に伴い、新店舗を工事中。衛生水準も向上する。今後は新商品や得意先のプライベート商品を作りたい。
		悪化	香川県	親鶏の羽数の減少は翌期も続くと思う。

◆氷雪販売業

業種	業況	地域	判断理由	
氷雪販売業	今期	好転	愛知県	昨年から長男が後継者として従事するようになり、販売活動を積極的に行っている。その結果、徐々にではあるが成果があらわれている。
		不変	大阪府	特殊な商品を取り扱っているため、あまり景気に左右されない。
		悪化	神奈川県	景気が今一つでイベントの数も減っており、また、製氷器の普及により需要が少なくなっている。小さな居酒屋などは冷蔵庫の氷を使って間に合わせているところが多い。
	来期見通し	好転	愛知県	来期は暖かくなるので、少し良くなると期待している。
		不変	東京都	交際費の税制上の優遇等により、飲食業界も景気回復が見込まれるが、消費増税の影響が不透明であり、力強い回復は見込めない。
		悪化	滋賀県	飲食店の開店の予定がなく、新規顧客を開拓できそうにない。悪化の一途をたどっている。

◆理容業

業種	業況		地域	判断理由
理容業	今期	好転	茨城県	福祉施設への出張カットや女性のシェービングを行い、売上の増加を図っている。
		不変	宮城県	フェイシャル及びヘアトリートメントのコースを増やし、客単価を上げるようにした。
		悪化	鹿児島県	お客様の高齢化や安価な理容店の増加等により売上は低迷している。その対策として、料金を固定せずに、例えば、顔剃りやシャンプーを省くなど、お客様の要望に合わせて柔軟に対応し、料金を安くしている。
	来期見通し	好転	岩手県	4月から特別養護老人ホームへ週3回、出張することになった。
		不変	千葉県	引き続きホームページ等を利用し、シルバー層向けや子供のカット、タイムサービスをアピールして客単価や利用客数を増やすことに注力する。
		悪化	山形県	アベノミクス効果と言われているが、地方には全く効果がなく、以前より悪化しているのが現状である。

◆美容業

業種	業況		地域	判断理由
美容業	今期	好転	石川県	フェイスブック等を活用してPRしたところ、新たな客層から予約が入るようになった。また、着付けやアップをPRしたところ利用客が増えた。
		不変	宮崎県	成人式のヘアセットや着付けが貸衣装屋のレンタル料に含まれることが多くなったため、来客数が増えていない状況である。
		悪化	福島県	東日本大震災による原発事故の影響で、メイン層である子育て世代（30～40代）の女性が避難のため減少している。
	来期見通し	好転	長崎県	年間計画に基づきキャンペーンを実施する。ブースを増設したのでヘッドスパの施術率の増加が期待できる。
		不変	埼玉県	お客様の来店の間隔が長くなっている。4～5年前から住居環境が変わり、マンションが建ち並んでいるので、新規客に期待している。
		悪化	京都府	消費税増税に伴い、主婦の財布のひもが固くなっている。

◆映画館・劇場

業種	業況		地域	判断理由
映画館	今期	好転	岐阜県	お正月の興行が好調であった。映画「永遠のゼロ」が全国的に大ヒットしたが、従業員が社内売りの「特別チケット」を取引先に積極的に販売し動員に努めた。また、年末から年始に「新春キャンペーン」として入場者全員に三角くじを引いてもらい、商店街の契約店で商品を受け取るというイベントを実施したところ好評であった。
		不変	兵庫県	番組による変動が大きく全体としては不変。シニア割引の比率が高まっており、単価は漸減している。
		悪化	広島県	年末の作品の選択肢が少なく、顧客のニーズに応えられなかった。来場者数が減少したため、利益も少なかった。
	来期見通し	好転	富山県	6月に富山ロケの映画が公開されるので期待している。
		不変	山梨県	施設のある中心街は、客離れに歯止めが掛からない状況である。営業努力により、維持するのが精一杯と考える。
		悪化	愛媛県	旅行業者との提携、人気劇団の誘致、老人施設等への営業などに注力したことから順調に推移してきたが、消費増税による影響や競合他社の参入が見込まれるため、来期以降は厳しくなると予想している。

◆ホテル・旅館業

業種	業況		地域	判断理由
ホテル・旅館業	今期	好転	福島県	客室を全面改装したこともあり、関東方面からのお客様も増えてきた。
		不変	岩手県	郊外の大型商業施設の出店があり、それに伴い宿泊需要が継続してあった。
		悪化	新潟県	毎年、この時期は顧客が減少するが、宿泊代金を下げても歯止めが掛からない。
	来期見通し	好転	徳島県	サッカーJ1クラブ（徳島ヴォルティス）が誕生したので、ホームゲームの前後は高い稼働が期待できる。開業後まだ1年程度であり、「客室が綺麗」という売りをしっかり守っていけるようメンテナンスをしっかりと信頼確保につなげる。
		不変	栃木県	春はスポーツ大会や協議会の時期であり、県外から遠征する学生の宿泊所となる。長期滞在客の減少、光熱費や食材費の増加を補ってくれる。
		悪化	岩手県	震災から3年が経過するところだが、復興需要もそろそろ頭打ちとなり、減少傾向になるのではないかと懸念されている。

◆公衆浴場業

業種	業況		地域	判断理由
公衆浴場業	今期	好転	福井県	イベントの継続による効果や情報誌等による宣伝効果が出た。
		不変	愛知県	高齢者が増えたが、夜遅くに来る若者が減った。
		悪化	青森県	地域の高齢化が進み、デイサービスや施設で入浴するため、経営に大きな影響を受けている。また、同業者の早朝営業（料金値引き）によっても客離れが起きている。
	来期見通し	好転	新潟県	料金改定により、客単価の上昇（390円から420円へ）が見込まれる。
		不変	香川県	冬期はお客様が減少する傾向にある。近所に浴場はなくなったものの、顧客の増加は見込めない。
		悪化	奈良県	燃料費の高騰や利用者数の減少が経営を圧迫している。4月から入浴料金が上がるのも気掛かりである。

◆クリーニング業

業種	業況		地域	判断理由
クリーニング業	今期	好転	栃木県	クリーニング代金の支払いに使える「前売り券」（半年間有効の割引券）の利用を宣伝している。この効果で、新規利用客の増加につながり、客単価は変わらないものの収益は増加している。
		不変	茨城県	原油、材料の高騰とクリーニングの顧客離れで厳しい状況が続いている。
		悪化	島根県	2年前からメール会員だけのサービスデーを月3回実施しているが、悪化は続いている。
	来期見通し	好転	群馬県	春の衣替えに伴い、お客様の持ち込み点数や利用単価の増加が見込めるが、消費増税がどのように影響するか不安である。春闘でのベースアップと景気の回復に期待し好転を見込む。
		不変	岐阜県	消費増税は気掛かりだが、春の繁忙期に入り季節的要因もあり、例年並みの業況が予想される。
		悪化	広島県	業界全体で新たな戦略を考えないと、現状を打破できない。収益のアップにもつながらない。